

学校だより 高遠の子

伊那市立
高遠中学校
2023/1/25
No.13

3学期も よろしくお願いします。

あけましておめでとうございます。1月10日から3学期が始まりました。短い学期ですが、どの生徒さんにとっても大切な日々となります。充実した学期となることを願っています。今年もどうかよろしくお願いします。

校長講話（3学期始業式）（抄） 「もう一人の自分を育てる」 「新しい自分との出会い」

あけまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

新しい年の始まりとして、2年前は目標実現に向けて「発心・決心・継続心」が大切という話をしました。昨年は相手の話をよく「聴く」そして自分の考えを「話す」という話をしました。

3学期の登校日数はわずかですが、3年生にとってはとても大切な一日一日となってきます。2年生は高遠中学校を背負っていく準備が、1年生は先輩となる準備が待っています。あっという間に過ぎていく日々の中で自分を大切にしてほしいと願い、今日は「もう一人の自分を育てる」、「新しい自分との出会い」という話をしたいと思います。

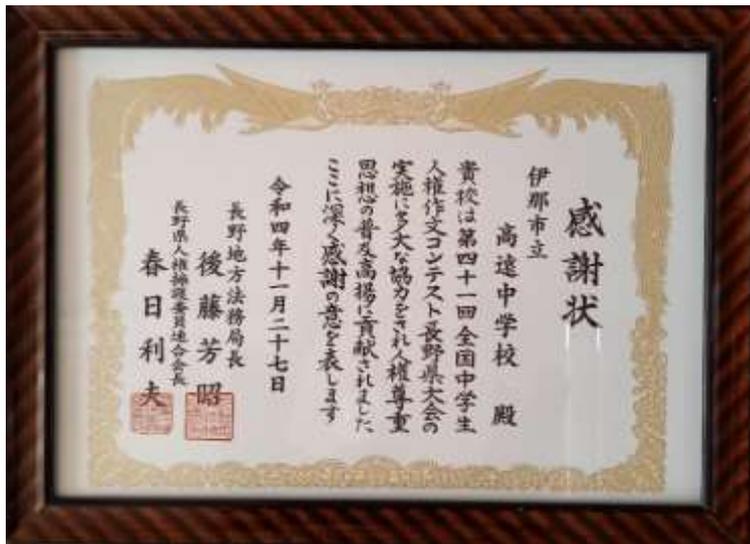
（瀬戸内寂聴先生、

青山俊薫先生のお話から）

皆さんなら、何を言いたいのかおおよそ気づいたかと思います。ちょっと目を広くすれば穴のあるところがあるでしょ、そこに行けばいいでしょ、と。そうなんです。アブはそこに気付かない。人間も、いつの間にかアブのように周りが見えなくなってしまうことがあるのです。なぞかけのような言い方ですが、「アブではない自分は、アブではない。振り返るもう一人の自分があるから、アブであることが見える。」もう一人の自分を育てておく、自分から離れて自分を見つめることを心がけておくことで、苦しかったり悩んだりしている時に、自分を見失うことなく対応できるようになるということです。この「もう一人の自分を育てる」ということは日頃の行いでできます。そこで

「新しい自分との出会い」という話をします。皆さんは生活記録を書いています。その日の出来事について、自分の考えや思いを書いています。きっと昨日とは異なる、新しい自分がそこにいると思います。また、日々の授業では、振り返りの時間があります。これまで気づかなかった新たな考えに出会った自分、分かるようになった自分、できるようになった自分がそこにはいます。このように自分を客観的に見つめることが、「新しい自分との出会い」となり、「もう一人の自分を育てて」いくのです。

この3学期。友を見つめ、そして自分を見つめる。充実した日々となることを願っています。



2年連続で人権作文コンテストについて、長野地方法務局・長野県人権擁護委員連合会から感謝状をいただきました。

【12月アンケートから】調査の結果、生徒・保護者の皆さんから職員の「体罰」について「なし」との回答をいただきました。今後も丁寧な指導・支援に心がけてまいります。ありがとうございました。

いじめや差別のない社会を目指して

人権作文コンテストには、毎年夏休みの課題の一つに入れて、生徒の作文を応募させていただいています。この度、昨年度に引き続き「感謝状」をいただきました。応募した作品のすばらしさはもちろんのこと、自己を振り返り、周りの人々への思いを深めていく姿勢が認められたものと受け止め、感謝状の授与に改めて生徒の皆さんに感謝の思いをここにお伝えしたいです。

人権は常に意識し、自らを戒め、周囲への思いやりを大切にしていく不断の努力が必要です。これは生徒に限ったことではありません。教職員、保護者の皆様、地域の皆さんをはじめ全ての人に求められています。

本校も人権強調旬間をはじめ、日常の学びの根底に人権教育を置いて教育活動を行っています。しかしながら、12月の生徒・保護者アンケートをはじめ日常生活の中で、いじめられて切ない思いをした生徒がいることも重く受け止めており、まだまだ十分とは言い切れないと反省をしています。切ない思いをしている生徒さんの気持ちに寄り添い、解決・解消できるようこれからも努めてまいります。

本校には「相談窓口」を設置しています（相談室：宮下子どもと親の相談員・小澤 SC、保健室：名和養護教諭、校長室、職員室等）。学級担任に限らず、どの職員でもかまいません。心配なこと、気がかりなことは自分でため込まずに、職員に相談してほしいと願っています。希望がありましたら気軽にお電話ください。

いじめ・差別のない学校、社会を目指し、解決・解消の道を共に歩んでいきたいと思えます。

～～学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。

12月アンケートへのご協力ありがとうございました。いただきましたご意見をもとにこれからの学校運営に生かしてまいりたいと思います。ご意見・ご質問・ご要望等について全てではありませんがお答えいたします。

○「授業で分からないところがあっても分からないまま進んでしまう」

←授業は分からないことを学ぶというのが基本です。分からないという皆さんが主役です。授業の進め方を大事にしたいと思います。分かったふりをしないで「分からない」を堂々と先生に伝えてください。

○各教科に「～～してほしい」という声をたくさんいただきました。

←12月の職員会議で、生徒・保護者の皆さんの声を職員で共有しました。すぐに対応できるもの、努力が必要なものがあります。できることから取り組み、向上を目指してまいります。これからも教えてください。

○高遠中学校のHPが更新されていません。

←大変失礼しました。更新していましたが、その旨を掲示できていませんでした。学校だより、同窓会情報、最近ではインフルエンザ関係など掲載しています。（別サイトの高遠中学校の情報が古いものがあります。こちらは学校では更新できないため。そのままとなっているものがあります。）

○給食メニューについて、新メニュー、質、量ともに不満であると聞きました。野菜が固いときがありました。

←野菜が固かったことについて、ご心配をおかけしました。生煮えではありませんので健康面は心配ありませんが、適度な固さについて追究してまいりたいと思います。本校の大きな課題は、残食が多いことです。学級ごとに調整したり、新メニューやコラボメニュー等で残食が減るよう工夫したりしています。中学生のお昼に摂取が必要なカロリーを計算して提供していますので、残食の分だけ皆さんの栄養が足りなくなっていることにつながります。ぜひしっかり食べてバランスも含めた栄養摂取をお願いします。

○水泳の「ラッシュガード」は禁止ですか？

←ラッシュガードは紫外線対策が主な使用目的と考えますが、思春期の皆さんにとって大切なものとも言えます。必要に応じて使用してください。

○1年生の教室が狭いです。コロナ等が心配です。

←教室の狭さについては申し訳ございません。密になっていますので、換気等でコロナ対策を続けています。次年度も教室が狭いことに変わりがなく現時点では申し訳ないといしか言いようがありません。

○聖桜祭での掲示の工夫を（ポスターや絵画等）。時間をかけて仕上げた作品です。

←お教えいただきありがとうございます。生徒の励みにつながるよう工夫していきたいです。

○新型コロナ対策を各家庭へさらに呼びかけを（検温、点検カード）

←まだまだ予断を許す状況ではありません。職員、生徒会を通じて校内での防止策を講じるとともに、是非ともご家庭でも感染拡大防止（手洗いなど）を引き続きお願いします。

○ZOOMでの先生の声が聞こえにくいです。

←ピンマイクとのご提案をいただきました。ピンマイクが無い代わりに集音マイクがありますので、こちらで試験的に取り組んでみたいと思います。

様々な考えや価値観を広げる「道徳」の授業

道徳は、よりよい人生を送っていくための基盤となる素地（道徳性と言います）を生徒の皆さんに育むことを目的で行っています。人間としての生き方についての考えを深め、実践意欲を高める学習です。

本校では、毎週木曜日の1校時に道徳の授業を行っています。道徳は学級担任が受け持っています（2年2組は学級担任の教科の持ち時数が多いため、副担任の大月が道徳を担当しています）。今回、12月8日から3月2日まで学級担任以外の教員による道徳の授業を行うこととしました。3月9日の今年度最終の道徳は学級担任の予定です。

心の学習とも言われる道徳です。校内の様々な教員と生徒が、道徳の授業を通して多様な価値観や考え方を共に学ぶことができると願っています。また職員自身も自らの研修と位置付けて取り組んでいます。1時間ごとに担当が代わるため、授業の進め方など戸惑う場面もあろうかと思いますが、それを乗り越えて充実した時間となることを願っています。

『感染症予防強化期間』 2月6日～3月10日：生徒会保健給食委員会

本校では新型コロナ対策を継続して取り組んでいます。徐々に慣れがでてきているのではと危惧もしております。生徒会では保健給食委員会主催で上記期間、換気チェックや呼びかけ等を行う予定です。ご家庭でも引き続き、新型コロナ、インフルエンザの感染防災策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

全国小中学校 PTA 広報誌コンクール

「奨励賞」連続受賞

昨年末、PTA 広報誌コンクールで県の優秀賞をいただきました。この度、日本 PTA 全国協議会から「奨励賞」をいただきました。これも昨年度からの連続受賞です。担当された教養文化部役員の皆さんをはじめ、寄稿くださり支えてくださっている PTA 会員の皆様のおかげと感謝申し上げます。

高遠中学校 PTA の活動には目を見張るものがあります。講演会、親子ふれあい講座、ボランティア活動、広報活動、三行詩コンクール、そして観桜期活動。組織改革も含めて PTA の皆さんの活動を通してより円滑に、充実し、日々成長していると感じています。

観桜期活動をはじめ、全ての会員の皆さんがかかわることにより、子ども達のためにとお力をいただけることに改めて感謝とお願いを申し上げます。

